

令和6年
秋季特別展

茶

と歌

歌に託された

茶の心



和歌浦大藏 蓼千家14代無限斎好 今日庵蔵

令和6年
9月18日(水) — 11月24日(日)



英文字文鏡筒形硯箱 蓼千家13代圓能斎好
茶道資料館蔵

2024 Autumn Special Exhibition
Tea and Poetry
The Tea Heart as Surrendered to Poems

茶道資料館

Chado Research Center

〒602-0073 京都市上京区堀川通寺之内上る寺之内堅町682番地
蓼千家センター内 TEL:075-431-6474

法護普須磨 蓼千家11代玄々斎筆 今日庵蔵(撮影:小笠原敬孝)

前期 9月18日(水) — 10月20日(日)
後期 10月24日(木) — 11月24日(日)

休館日 | 月曜日(但し、9月23日、10月14日、11月4日・11日は開館) 第1・3火曜日、9月24日、
展示替え期間(10月22日・23日)

開館時間 | 午前9時30分～午後4時30分(入館は午後4時まで)

入館料 | 一般1,000円、大学生600円、中高生350円 小学生以下ならびにメンバーシップ校の方は無料

呈茶 | 一般1,000円、メンバーシップ校の方は800円(予約優先・要別途入館料)
平日と土曜日・祝日、11月24日に開催

茶の湯の大成者・利休は、藤原家隆の歌「花をのみ待つらむ人に山里の雪間の草の春をみせばや」に茶の心を見出したと伝われます。また、利休の師の一人に数えられる武野紹鷗は元々連歌の道を志した人物でした。その後、茶の湯を修めた紹鷗は、初めて和歌を掛物として用いた人物とされますが、歌の美意識を茶の湯に応用することで独自の美学を生み出しました。茶の湯における「わび」や「冷え枯れる」といった美意識は歌論の美学を継承し、発展したものと考えられています。

このように、茶の湯文化と歌の文化はきわめて関わり深いものがあります。また、当時の流行や世相、点前や手続きを歌に託して詠んだ作品も少なくありません。本展では「歌」と「茶の湯」をテーマに掲げ、裏千家歴代による詩歌や、一般的に「利休百首」と称される利休道歌の成立と展開までを取り上げます。さらに、歌銘が付された茶道具や文房具なども展示し、歌に託された茶の湯の世界をご覧ください。

①



④



③



②



⑤



- 【市バス】
- JR京都駅中央口のりばB1より⑨
 - 阪急大宮駅下車3番出口→四条堀川より⑨⑩
 - ※いずれも堀川寺ノ内下車、徒歩3分
 - 京阪出町柳駅より⑩⑪、堀川今出川下車、堀川通東側を北へ徒歩10分

- 【地下鉄】
- 烏丸線鞍馬口駅下車、西へ徒歩15分
 - 東西線二条城前駅より市バス⑨⑩、堀川寺ノ内下車、徒歩3分

- ① 利休居士百首歌留多 鷲山宗宙好
- ② 法護普須磨 四幅の内一幅 裏千家11代玄々斎筆 今日庵蔵
- ③ 竹茶杓 歌銘 茶の湯には 裏千家14代無限斎作 茶道資料館蔵
- ④ 句入茶碗 6代坂東襄助句・井口海仙画 吉向十三軒造
- ⑤ 『長歌茶湯物語』 今日庵文庫蔵

メンバーシップ校

京都芸術大学、立命館、光華女子学園、
京都大学、京都工芸繊維大学、同志社、
平安女学院、京都文教学園、京都精華大学、
京都府立医科大学、京都府立大学、
京都外国語大学、京都産業大学、
京都先端科学大学(加盟順)

呈茶席 (有料・予約優先制)

立礼の茶席で抹茶と和菓子をお出ししています。

日時 | 平日と土曜日・祝日、11月24日に開催

時間 | 10時、11時、13時、14時、15時
(所要時間約30分)

定員 | 各席 16名

料金 | 一般1,000円 (要別途入館料)
メンバーシップ校の方は800円

※詳細・予約方法は、ホームページまたは
電話にてご確認ください(予約は前日15時まで)。

茶道文化検定Web版

第6回: 令和6年11月1日(金)~14日(木)

茶道資料館
Chado Research Center

〒602-0073
京都市上京区堀川通寺之内上る寺之内堅町682番地
裏千家センター内 TEL: 075-431-6474
<https://www.urasenke.or.jp/text/c/gallery/> (日本語) →
<https://www.urasenke.or.jp/text/resources/organ-konnichian/gallery/> (English)

